

一九一五番

我が背せ子こに 恋こひてすべなみ 春はる雨さめの 降ふる別わか知し
らず 出いでて来こしかも

一九一六番

今いま更さらに 君きみはい行ゆかじ 春はる雨さめの 心こころを人ひとの 知し
らざらなくに

一九一七番

春はる雨さめに 衣ころもはいたく 通とほらめや 七なぬ日かし降ふらば
七なぬ日か来こじとや

一九一八番

梅うめの花はな 散ちらす春はる雨さめ いたく降ふる 旅たびにや君きみが
廬いほりせるらむ